

## 2019年度 介護老人福祉施設ケアホーム三浦事業計画

2019年度は当施設も3年目に入ります。

開設して2年で施設の土台の部分は固まってきており、ここから今年度の計画にもあった質の向上をより進めていければと考えております。施設運営の中心となる職員と一緒に質の向上に向けて取り組んでいきます。

- ① 介護職員の専門性の向上とスタッフの確保
- ② 居心地の良い施設の創造
- ③ 収入増に向けて

1つ目の件については、当施設は介護福祉士の率が3割程度と経験あるスタッフが少ないこともあり、介護技術・認知症の方への接し方など指導していくことが重要になります。また、介護の専門学校以外の10代、20代前半の職員も入職者が増えてきており、毎月行っている通常の研修に加えて、来年度は介護技術の研修や利用者のことを多職種で話し合う場を増やすことで職員の専門性の向上に努めていきたいと考えております。学び合う場が増えることで、職員の紹介等によるスタッフの確保にもつながっていけばと考えております。

2つ目の件については、より居心地の良い施設の創造です。職員目線ではなく、利用者目線での生活の質の向上に努めていきたいと考えております。要望の強い外出レクへの積極的な取り組み・買い物サービスの開始などとともに、日常のユニット内での生活の充実を考えて支援することで、ご利用者にとって居心地のよい場所にできるように取り組んでいきます。また、社会福祉法人という特徴をいかし、地域の中の社会福祉法人として、学校への講師派遣や、災害時の協力体制の確立など、近隣の機関と協力しながら地域福祉の面でも貢献していきたいと考えております。

3つ目に関しては、介護職員などの専門職の確保にも関係してきますが、職員の給与・待遇改善をおこなっていくには、収入の増加が欠かせません。効率的なベッドコントロールはもちろん、利用者のケアの向上につながる加算の獲得をすすめていくことで、専門性を高めながら収入増もはかれるように取り組んでいきます。具体的には、特別養護老人ホームは定員100名の満床状態の継続、短期入所生活介護・通所介護については、9割の稼働率、居宅介護支援事業所についてはケアマネジャーの増員を目指します。特に、今年度果たせなかった、居宅介護支援事業所のケアマネジャーの増員は、求人活動や施設内のケアマネジャーの養成など、来年度の重要課題として取り組みます。